

評価対象期間	平成26年4月～平成27年3月分
施設名	鳥取市歴史博物館
指定管理者名	公益財団法人鳥取市文化財団
指定管理期間	平成23年4月～平成28年3月
施設所管課名	文化財課

1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
I. 公共サービスの実施状況				
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	4	4	聞き取り	館の管理及び運営に関する協定書、仕様書を基本に実施している。朝礼、週礼で情報の共有を図るとともに、課題等については施設長会議に諮り、課題解決を図っている。
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	聞き取り 組織図確認	
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	4	3	聞き取り	学芸員の資質向上のため、「文化財IPMコーディネータ資格取得講習会12/10-12/12」へ派遣し、資格取得した。また、人権研修への参加及び外国人に対するおもてなし向上のため韓国語、中国語研修を受講し、職員の資質の向上を図った。さらに、救護体制の強化を図るため、心肺蘇生法とAEDによる救命講習を実施し、救命知識の向上に努めた。
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	聞き取り	
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	4	3	聞き取り	月別入館者数をグラフ化し、入館者の傾向を施設長会議で共有し、入館者増への対策を検討実施した。
6 減免対象者は、適切に減免しているか	適切	適切	聞き取り	
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	4	4	聞き取り	禰谷ホテル鑑賞期間にホテルの会に協力していただき、夜間開館を実施し多くの方に入館できる体制をとり、地域活性化に貢献した。花のまつり、木のまつりに参加し、鳥取市の文化・歴史を広め、郷土愛の醸成に努めた。
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	4	3	聞き取り	入館者にアンケート記入していただき、その内容をチェックし、職員全員で内容を共有し、問題点を協議した。結果は良いが50.2%、まあまあ良いが24.9%であった。
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	聞き取り 書類確認	入館者アンケート等の協議をもとに改善に努めた。PDCA業務管理の試行期間を経て、導入の仕組みを作成した。
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	4	4	聞き取り	博学連携事業チラシ配布実施。学校からの依頼が増加した。新聞、チラシ等の広報拡充、市報等の活用、市内各店舗へのPR活動をはじめ、老人施設、テラーサービス等へ出向くなど来館を促した。また、喫茶のリニューアルを行い、名称も「ひすとあ」とし、当館企画への積極的参加、図録等の販売促進など、入館者増に努めた。
II. 施設の維持管理の実施状況				
11 清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	聞き取り	文化財害虫のモニタリングを月1回チェックし、害虫発生等の監視を行っている。また、シャッター等に防虫対策用ブラシを取付、害虫等の進入防止に努めた。
12 備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	4	4	聞き取り	委託業者による保守点検はもとより、職員が日々巡回し目視による点検を行った。修繕箇所が判明したものは早期に対応した。また、2ヶ所の駐車場についても隣接家屋への配慮、駐車区画の表示など、館外設備等についても適切な管理に努めた。
13 消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	聞き取り	
14 再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	聞き取り	
15 点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	4	4	聞き取り	冷暖房(チラー)装置、地下排水ポンプで異常が何回か発生したが、保守点検業者と密に連絡を取り、緊急対応した。また、常設展示機器類において老朽化に伴う作動不良が発生したが、その都度適切な処置を行った。

III. 施設の経営状況					
16	事業収支は妥当であるか	3	3	聞き取り	特別展等の充実により展示開催費が多くなっているが、収支は黒字である。
17	施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	4	4	聞き取り	室温管理、クービスの励行を徹底し、空調電力を抑える努力を行った。また、発注による業者間の競争性で適正な入札実施を図り、経費節減した。
IV. 法令等の遵守状況					
18	個人情報の管理は適切に行われたか	4	3	聞き取り	お客様から預かった個人情報は目的以外には使用していない。また、個人情報が記載されたペーパーで不要になったものはシュレッダー処理した。
19	市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	聞き取り	
20	労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	聞き取り	
21	設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	聞き取り	
V. 施設運営に関する情報の公開					
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	4	4	聞き取り	自館ホームページでは最新の情報を随時入れ替え、情報提供した。また、職員が毎週交代して「やまびこのわ」を掲載し情報発信している。
23	満足度調査結果等を施設で公開しているか	4	3	聞き取り	調査結果は館が発行する「年報」で統計として、グラフなどで公開している。
24	市への報告体制が確立されているか	4	3	聞き取り	設置者に対し、毎月集計を報告するとともに、緊急の場合のもとより、報告事項等があれば、随時電話・メールにて報告協議した。
VI. リスク管理の状況					
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か。	3	3	聞き取り	
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	4	4	聞き取り 書類確認	リスク・危機管理マニュアル、緊急連絡先を、職員がいつでも確認できる場所に設置し、有事に即応できる体制としている。全職員名札の裏に「緊急時の行動」表を入れ緊急時に備えている。

2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	1.常設展示の老朽化が進むなか、主催事業とともに、共催・貸館事業、さらに歴史散策等をはじめとする各種イベントを開催し、年間を通して来館者の満足度の向上を図り、入館者増に努めた。 2.博学連携事業に伴った学校等の連携、近隣町行政への広報依頼、老人施設、ターサービス等へのPRなど、身近に立寄ることができる教育・文化施設としての歴史博物館の利用向上に努めた。 3.入館者は、H26年度33,815人にとどまったが、平成23年度から入館者数が徐々に増加し、事業成果とともに活性化が図られつつある。
施設所管課	指定管理者は7施設の指定管理施設を管理運営している。鳥取市歴史博物館においては4年連続して黒字であり、7施設や財団本体の運営を合わせて黒字となっており、財団の法人会計で繰越剰余金もあることから経営状況に問題はない。

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	1.本年度は7本の特別展・企画展の自主事業(共催展含む)を計画し、入館増に努めた。長通寺の襖絵、鳥取のお殿様、因幡民談記の世界等、各時代背景のなかで、鳥取を紹介した。また、記憶遺産のような新たな視点の中で、身近な文化、歴史資源の発掘に努め、市民文化の発展に貢献した。 2.教育普及活動への参加率を高めるため、広報活動に努力した。
施設所管課	鳥取市合併10周年記念『因幡民談記の世界』、旧鳥取藩主池田家からの鳥取城跡寄贈70周年記念『鳥取のお殿さま』など、見ごたえのある特別展、企画展が開催された。また、県立博物館、あおや郷土館と連携した事業やイベント、小学生等を対象とした博学連携事業等を実施し、小学生から高齢者まで身近にふるさとの歴史等を学べる機会を創出している。

4. 総括コメント

指定管理者	1.常設展示パソコンのOSサポートが終了し、代替品もなく、故障時の対応が困難であることから、早急に全面的な改善措置を図る必要がある。 2.ヒートポンプチャラーの老朽化、内部の腐食が発生している。機器の更新が必要な時期と考えられ、予防保全を目的として、今後の対応の必要性について鳥取市(教育委員会)へ報告を行った。2台のチャラーは、年間を通して故障が多発し、展示室、収蔵庫の適正な温湿度管理に支障をきたす状況となっている。
施設所管課	平成12年7月の開館以来45万人以上が利用している。現在の指定管理者が一貫して管理運営し、調査研究を行っていることから、その成果や専門性を活かし、本年度はレベルの高い特別展となったことを評価する。常設展については、機器等の老朽化対策や情報の更新、展示替え等が必要な時期であるので、指定管理者と協議を行い、展示替えを進めていく。

確認方法	書類、聞き取り、現地確認
------	--------------

評価区分	4 求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
------	-------------------------------

	3 求める管理水準が適切に実施されている
	2 求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある
	1 求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
	0 求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がなされている

【資料2】

施設名 鳥取市歴史博物館

1. 施設利用者数

項目	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
入館者数(人)	27,000	38,042	28,000	22,614	30,000	44,045	31,000	33,815	32,000	
研修室(人)		404		373		532		391		
特別展示室(件)		4		1		2		4		

2. 事業収支

項目	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
収入計(A)	149,078,000	160,336,730	149,078,000	164,814,065	149,078,000	155,016,066	149,078,000	157,754,813	149,078,000	0
指定管理料	145,448,000	145,448,000	145,448,000	145,448,000	145,448,000	145,448,000	145,448,000	149,603,657	145,448,000	
事業収入	1,100,000	2,056,356	1,100,000	1,972,802	1,100,000	1,773,036	1,100,000	2,147,166	1,100,000	
入館料収入	2,200,000	1,663,317	2,200,000	1,737,561	2,200,000	1,619,824	2,200,000	2,354,880	2,200,000	
使用料収入	300,000	575,130	300,000	166,350	300,000	641,450	300,000	860,020	300,000	
補助金収入	0	5,428,500	0	13,605,900	0	1,973,685	0	680,832	0	
委託料収入	0	0	0	0	0	400,000	0	0	0	
寄付金収入	0	3,300,000	0	250,000	0	20,000	0	0	0	
収益事業等収入	0	1,830,531	0	1,592,375	0	2,301,940	0	2,082,066	0	
雑収入	30,000	34,896	30,000	41,077	30,000	838,131	30,000	26,192	30,000	
支出計(B)	149,078,000	148,587,356	149,078,000	134,086,927	149,078,000	134,696,163	149,078,000	134,766,107	149,078,000	0
事業収支(A)－(B)	0	11,749,374	0	30,727,138	0	20,319,903	0	22,988,706	0	0